

教育委員会挨拶（資料）

県立学校長研究協議会 24.10.19 10:20～ 県庁第二別館 6階大会議室
--

（はじめに）

平成24年度県立学校長研究協議会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素から、生徒一人一人を大切にし、個性を伸ばす教育や、地域に開かれた特色ある学校づくりに意欲的に取り組んでいただき、立派な成果を上げていただいておりますことに對しまして、心から感謝申し上げます。

（「えひめ教育の日」について）

さて、県教育委員会では、「愛顔（えがお）あふれる愛媛県」を目指し、今年度も「社会総がかりで取り組む教育の推進」を教育重点施策の一番目に掲げ、11月1日の「えひめ教育の日」及び11月の「えひめ教育月間」において様々な行事を実施し、県民総ぐるみで教育について考え、行動する機運の醸成に努めることとしております。

各機関や地域等において関連行事を集中的に実施することとしておりますので、各学校においても、教職員・生徒・保護者への周知及び関連行事の実施について、引き続き協力をお願いします。

（高校生の就職について）

新規高等学校卒業予定者を取り巻く就職環境は、景気に緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、9月末現在の県立高校の就職内定率は、42.2%と昨年度を1.7ポイント下回っており、依然として厳しい状況が続いています。

県教育委員会では、各校の希望に応じて、就職活動サポーター

や就職活動支援員、キャリアカウンセラーを配置して、求人開拓や就職に関する相談等の支援に取り組んでいるほか、7月から8月にかけて、県内経済団体や各事業所に対し、求人要請などを行ってきたところであります。

今後とも、ハローワーク、ジョブカフェ愛Work等の関係機関と連携して、生徒一人一人の希望に添う就職支援に取り組むこととしておりますので、各学校におかれましても、就職を希望する生徒全員が、社会へ出ていく第一歩を無事踏み出すことができるよう、全教職員が一丸となって一人一人の希望や適性に配慮した就職支援を引き続きお願いします。

(県立学校の耐震化の推進・高校再編整備について)

校舎等の耐震化については、平成24年度当初予算編成に当たって、平成27年度末の耐震化率目標をこれまでの「80%」から「90%」に前倒しするとともに、「平成29年度終了」とする新たな目標を掲げ、より積極的に推進することとしておりますので、ご協力をお願いします。

高校の再編整備については、現計画は25年度で終了になりますが、今後の再編整備に当たっては、先日発表したとおり、現行の再編整備基準は維持しながら、基準に該当した場合に猶予期間を設け、猶予期間中に地元地域住民やPTA、市町、中学校、高校などで構成する組織を立ち上げ、学校の存続と活性化に向けた計画を作成し、一体となって取り組んでいただくよう取扱いを変更したところです。平成25年度県立学校の入学定員については、今治北高校事務科と情報処理科を統合し、情報ビジネス科を新設するほか、松山南高校砥部分校デザイン科及び宇和島東高校普通科、津島高校普通科をそれぞれ1学級減ずることといたしました。さらに、来年度から、新居浜特別支援学校に産業科を設置することとしております。

(東日本大震災について)

県教育委員会では、昨年3月に発生した東日本大震災で被災した地域の復興を支援するため、昨年度に引き続き、今年度も「被災地学校修学旅行支援事業」を行うこととしており、宮城県及び福島県の高校8校が、11月から順次、本県を訪れ、短い時間ではありますが、本県の高校との学校間交流を実施することになっています。

また、各学校における支援活動としては、今年8月に、大洲農業高校の生徒が宮城県山元町を訪れ、現場実習の一環として農家の復興支援活動等を行ったほか、11月には、宇和島水産高校の生徒が航海実習を兼ねて石巻市を訪問し、支援物資等を被災者の方々に届けることにしていると聞いております。

学校間交流や復興支援活動を行う高校には、被災地の生徒たちの心に残る交流や被災地の方々の心に添う支援活動を実施し、愛媛と被災地との絆を更に深めるとともに、本県の高校生に、人が互いに励まし支え合うことの尊さを学ぶ貴重な機会となるよう、配意いただきたいと思います。

(おわりに)

御案内のとおり、全国では、いじめにより生徒が自殺するなどの不幸な事件が連続して発生し、大きな社会問題となっています。いじめ問題の解決については、午後から行われる研究協議の中で、話し合われると聞いておりますが、全ての学校・教職員が自らの問題として切実に受け止め、問題の解決に取り組むよう、実効性ある指導体制や学校運営の在り方について協議していただくようお願いいたします。

また、各学校においては、服務規律の遵守についても、不祥事を起こさせないという強い思いで、日ごろから教職員の状況を十分に把握して、適切な対応・指導を行っていただいておりますが、教職員・生徒の事件・事故も含め、あらゆる危機管理を学校経営

の中に明確に位置付け、全教職員の意識を高め、校長先生のリーダーシップの下、組織として、予防的見地から、適切な対応がなされるよう、お願いします。

終わりにになりましたが、皆様方には大変多忙な毎日でありますので、御自身の健康にも十分留意され、今後とも愛媛の教育の一層の充実・発展に協力いただきますようお願いいたしますとともに、本日の研究協議会が実り多いものとなりますことを祈念いたしまして、挨拶いたします。